とうきょう　すくわくプログラム活動報告書

園名	草花保育園
活動日時	令和8年2月26日（木）
クラス名（年齢）	ばら組（5歳児）
年間テーマ	自然

1、活動テーマ

＜テーマ＞

影絵を見よう

＜テーマの設定理由（子どもの姿）＞

・今年度のすくわくプログラムの活動の中で影当てや影作りなどを楽しんできた。子ども達がさらに興味を持ち楽しめると思い、プロの影絵を観賞した。

2、活動スケジュール

・今年度クラスでどんな影あそびをしたか振り返ったり、光と影の不思議さなどを体験する。

3、環境をデザインする（活動のために準備した素材や道具、環境設定）

・ホール内で影絵が見られるよう暗くし調整する。
・一人ひとりが舞台をしっかりと見られるよう広がって観賞する。

4、探究活動の実践

＜活動内容＞

・影絵を見て、保育者や友達とどんなところが楽しかったかなど感想を話したり、自分たちでも手影絵に挑戦するなど振り返り楽しむ。

＜活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり＞

子どもの言葉・姿	写真
「手で影を作るよ」と鳥の手影絵が出てくると「すごーい」「こうやってやってるんじゃない？」「飛んでるみたい」と影の柔らかい動きに驚いたり一緒に手を出して真似をしていた。物語を影絵で見るのは初めてで、ひとつひとつの動きに釘づけだった。「本物のおじいさんだ！！」「ねずみが大きくなったり小さくなってすごいね」など技法に驚いていた。 「スマホのライトで光を当てると影を作れ、外ならお日さまの光で影ができるから、みんなもぜひやってみてね」と話を聞くと、さっそくホールの床で影遊びをしていた。 「ほら、ここに僕の手がカニになってるよ」「私もやりたい」「僕も」と次々にカニが増えていった。 「私、うさぎさん教えてもらったの！でもこれ取ったらもう作れないよー」とみんなに見せてしばらくそのままの（うさぎの）手の形を保持し崩してしまうのを惜しんでいた。	

5、振り返り（振り返りによって得た保育者の気づき）

・プロの方々が見せてくださった影絵は子ども達が想像していたものより大きくて立派なものだった。クラスの活動で自分たちが影当てなどをしたことを思い出しながら「カニの手こうだよね」「象作るの難しいなぁ」など興味を持って見ていた。最初は影に関する活動がここまで広がるとは思っていなかったが、子ども達の興味や探究心から活動が増え、就学前に素晴らしい作品をみんなで見て体験することができ、光と影の興味が広がった。